汚職・(癒着・縁故)

政治的汚職

- 大統領1族がfamily businessをやめることは極めて難しい。
- 一族の「盗人集団化」

独裁政権の長期化は政治的権力の集中

独裁者の腐敗は、ファミリーの関与で一段と加速

７０－８０年代：大統領を頂点に、軍と官僚が機能して、開発型の統治がうまくいっていた。

９０年代：権威がファミリーによってなくなる。軍・官僚もKKN（汚職・癒着・縁故）

「盗人に追い銭」　日本のODAも？（賄賂を送らないとODA事業が進まない。賄賂を贈ると違法のdilemma）

KKN

- 汚職K：政治的汚職、国費の着服
- 癒着K：財界の実力者と政治権力者が秘密裏に協力して国権乱用で利益を得ること。
- 縁故N：家族・同族・同党など自分の仲間を優先して利益を図ること

- 鉱山・エネルギー、石油・天然ガス、国家土地庁と農地担当者・・・・・・
- 私見として：汚染違反の黙認、国有地の払い下げ、採掘権の譲渡などなど

汚職撲滅対策

- 統治の改革：　給与引き上げなど、司法改革分野での人材育成（最近：裁判でも賄賂があるという報道もある）など
- 「法の支配力（三権分立）」、「透明性」、「説明責任」、「市民社会の参加」

- コメント：資本主義万能、利益追求、個人評価、アメリカ型の勝利、などで、今後、「汚職マインド（法は犯さないがギリギリのところで勝負する、または、逮捕されない程度犯す）」は増加するように思う。日本でも、雪印、三菱、鳥インフルエンザ、BSE豚、や韓国の腐った具の餃子など、「うまくいけば、逮捕されなかった」が内部告発などで表面化、大学も、独法化後どうなるか分からない（本末転倒現象：研究教育と財務、（研究教育のためか？金のためか？自分のためか？）、汚職はしないが、自己利益の最適化（以前は、自己名誉の最適化もあった？）

汚職の現状

- 中国：GDPの２－３％
- フィリピン：１日　１億ペソ（２－３億円）
- ブラジル：６０００ドル/人・年？
- インドネシア：製造コストの２０－３０％
- アメリカ：４０００億ドル

- TI (Transparency International)
- 対策（追加）：小学校からの道徳教育

個人の汚職？あなただったらどうする？（1）

- 発注した会社の方と食事に行き、相手方が飲食費（1-2万）を払い「今日は私どもが払います」といわれたとき
- 役所の窓口で許可申請書類を出すとき「100ドル出せば、明日出来ますが、そうでないと100日かかります」といわれたとき、なお、1日で会社は1万ドル損する。

個人の汚職？あなただったらどうする？（2）

- ある国の国家プロジェクトを受注した。このプロジェクトではA村が土地買収を担当しており、当然A村公務員には給料はでている。村長に「このプロジェクトのために公務員１人に対して５０ドル払ってください」といわれた。
- ある国でスピード違反でつかまった。警官に「正式には本部まで行って、そこで罰金２００ドルをしはらうのですが、手続きに１－２日かかります。私に１００ドル払えばこの場ですみます」といわれた。